

国分寺市健康増進計画実施計画（前期）

達成状況評価報告書

（平成27年度～令和元年度）

国分寺市健康部健康推進課

健康増進計画実施計画（前期）評価票

1 事業評価の視点

（1）各年度末までの進捗状況評価

各年度末までの進捗状況を評価します。

次の3つから選択，又は当てはまらない場合は自由記載。

「目標どおり進行している。」

「やや取組が遅れている。」

「大幅に取組が遅れている。」

（2）5箇年の達成状況評価（前期計画の評価：令和2年度実施）

5箇年を経て目標を達成することができたか。

A：目標以上に達成した（目標に対し100%以上を達成）

B：おおむね達成した（目標に対し80%以上100%未満を達成）

C：目標を下回った（目標に対し80%未満）

D：実施しなかった

国分寺市健康増進計画実施計画(前期)達成状況評価総括表

達成状況	件数	備考
A:目標以上に達成した	82件	<ul style="list-style-type: none"> ・【通番2】健康講座は、講座の回数を増やし実施することができた。一方、参加者の年齢が高く、働き世代の参加人数が少ない傾向がみられている。様々なライフステージにある市民の健康意識を高められるよう、講座自体の企画や内容を工夫をし実施していく。 ・【通番8】人間ドックの受診者数は年々増加している。市民からの要望により平成30年6月より脳ドックも開始したところ、受診者は多数にのぼった。 ・【通番15】40歳検診勧奨事業で、対象者に勧奨案内した結果、対象年齢のがん検診の受診者数が向上した。 ・【通番50】妊産婦訪問実施率は目標値を上回っており、訪問を通して産後の育児不安の解消、子どもの発育確認、虐待の早期発見・防止等を行えている。 ・【通番60】歯科医療連携推進事業において、歯科医師会との連携のもと、希望する対象者を迅速に歯科医療機関に紹介することができた。本人の身体状況や生活環境等により歯科受診に至らない場合には、個々の状況に応じた丁寧な相談を行った。
B:おおむね達成した	24件	<ul style="list-style-type: none"> ・【通番1】健康情報のポスターを作成し、市内全薬局へ薬剤師会と通してポスター掲示の依頼することができた。ポスターを撮影し内容を持ち帰る市民の様子もみられた。 ・【通番13】肝炎ウイルス検診の受診者数は、毎年増加しており、受診環境の整備と周知活動の効果が出ていると思われる。 ・【通番14】成人歯科健診では個別勧奨の年齢を増やしたことが、受診者数の増加につながった。各健診の個別相談やアンケート等を利用し、かかりつけ歯科医での定期的な健診の重要性についての普及・啓発を行った。
C:目標を下回った	5件	<ul style="list-style-type: none"> ・【通番6】特定健康診査(国保、40歳以上)について、申込方法拡大のため電子申請を開始し、託児も試行するなど受診率向上に努めたが、目標に届かなかった。 ・【通番9】保健指導実施率を上げるため、ICT面談方法を追加したが浸透には時間を要しており、保健指導実施率は目標を大きく下回った。 ・【通番44】地域生きがい交流事業について、年3回のアンケートでは好評をいただいた。実績の伸びはあったが、目標値には届かなかった。 ・【通番48】こころの体温計は、開始当初に比べアクセス件数は年々減少しているが、当事業および必要な相談先についての周知が浸透してきたと思われる。自身の心の健康度を知り、適切な相談先を知ることができるツールとしての役割が大きく、心の不調に気づいたときに利用できる事業として継続は必要である。 ・【通番70】地域団体交流会は開催していないが、団体間の情報共有や交流の場としての、市民活動センター団体交流会を継続して実施した。また、令和元年9月に市民活動センターを、地域活性化等の機能を備えたアクティ・コブンジに移設した。引き続き、団体間の交流の活性化に取り組む。
D:実施しなかった	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・【通番11】骨粗しょう症検診は、医師会から検査方法への指摘があり、平成30年度から中止した。今後もリスクについて自己チェックの上、医療機関受診を促す。骨粗しょう症の啓発、発症予防し、骨折予防等について介護予防事業との連携を検討する。

国分寺市健康増進計画実施計画(令和元年度)進捗状況評価総括表

進捗状況	令和元年度 (平成30年度)	備考
目標どおり進行している	103件 (106件)	<ul style="list-style-type: none"> ・【通番5・10・12】各健診・検診について、申込方法を拡充するため電子申請、また、受診しやすい環境づくりのため、子育て中の対象者に対する一時託児を継続して行った。若い世代への周知を進めるため、国保加入者のうち若年層健診・30歳代健診の該当年齢の方へ、QRコード付きの勧奨ハガキを送付した。 ・【通番56】健康増進法の段階的施行に伴い、制度の周知に係る市報記事掲載やリーフレットの配布を行うとともに、喫煙のリスクや禁煙外来についての情報提供をホームページ等により実施した。
やや取組が遅れている	7件 (4件)	P.5～6参照
大幅に取組が遅れている	1件 (1件)	P.7参照
評価なし	1件 (1件)	P.7参照

① やや取組が遅れている事業

基本目標	施策の方向性	通番	事業	事業概要	達成率	前年度比	令和元年度実績 (30年度実績)	令和元年度 (目標値)	所管課	取組が遅れている理由・考察
1	1-3	6	特定健康診査 (国民健康保険、40歳以上)	40歳から74歳までの国民健康保険被保険者を対象として、医療保険者が毎年度特定健康診査等実施計画に定めた内容の健診を実施する。	69.3%	100.0%	受診率41.58% (41.59%)	受診率60.0%以上	健康推進課	本事業の目標値は、国分寺市特定健康診査等実施計画の目標値(国が示す市町村国保における実施率)であり、実績と目標値の乖離が大きくなっている。平成30年度の法定報告数値によると、東京都全体の受診率は44.7%、市町村49.3%であり、いずれも国が示す目標値を下回っているが、都全体、市町村と比較しても当市は下回っているため、勧奨等を継続して行うことが必要と考える。
1	1-3	13	肝炎ウイルス検診	40歳以上で、過去に一度も肝炎ウイルス検診を受診したことのない市民を対象に実施する。	79.7%	85.5%	受診者731人 (855人)	受診者917人以上(平成26年度受診者数以上)	健康推進課	年間受診者数は平成29年度から微減しており、受診環境の整備と未受診者への周知を継続しているものの行き届かなかったと考えられる。自身の肝炎ウイルス感染の状況を早期に認識し、必要に応じて治療・保健指導を行い、肝炎による健康障害を回避または重症化を予防するために有効であり、対象となる40歳以上の(生涯)受診率と併せて受診者数の推移を確認していく必要がある。令和元年度末現在の40歳以上市民受診率は26.70%。
2	2-1	44	地域生きがい交流事業	高齢者がそれぞれの立場から参加し、自ら多様な経験・技術を生かし、さまざまな生きがい活動を実践するため、「生きがい創作・介護予防事業」等を行う。	71.0%	90.2%	年間延べ参加者数 7,104人 (7,876人)	年間延べ参加者数 10,000人	健康推進課	新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年2月下旬以降、中止した。実施していても目標値には到達しないが、これまでの実績から、これまで通りの運営でも9,000人程度、感染症対策実施の場合には定員削減を行う必要があるため、5,000人程度への目標値の修正が必要と考える。
2	2-1	★48	メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」	携帯電話やパソコンによりストレスや落ち込み度を簡単にチェックするもの。それを実施することで、どこに相談に行ったらよいか分かる仕組みになっている。	21.6%	72.7%	アクセス件数 年間29,890件 (年間41,092件)	アクセス件数 平成25年度実績値 (138,597件)以上	健康推進課	事業が始まった当初(25年度)は市報等での広報や他市でも同事業が始まり、注目度が高かったと推察される。アクセス件数の低下は一概に悪いとも言い切れず、原因の分析は難しい状況である。
3	3-1	70	地域・団体交流会	市民活動センターに登録している135団体に加えて、市民や自治会町内会、商店会などにも声をかけて、地域の課題を出し合いながら、相互交流を図る。	—	—	事業概要に即した事業は開催していない。従来の市民活動センター団体交流会としての『こらほdeサロン』を2回開催したほか、新たに団体向け講座を1回(H30年度は2回)実施した。	継続して実施	協働コミュニティ課	団体間の情報共有や交流の場としての、市民活動センター団体交流会は継続して実施している。令和元年9月に市民活動センターを、地域活性化等の機能を備えたアクティ・ココブンジに移設した。引き続き、団体間の交流の活性化に取り組む。

基本目標	施策の方向性	通番	事業	事業概要	達成率	前年度比	令和元年度実績 (30年度実績)	令和元年度 (目標値)	所管課	取組が遅れている理由・考察
3	3-1	72	地域センターまつり (5館)	子どもから高齢者までを対象に地域センターまつりを実施し、ダンスや健康体操などの利用団体が日頃の活動の成果を発表するとともに、あまり地域センターを利用しない世代も含め、多世代交流の場とする。	—	—	各館年1回継続実施 (4館) (5館)	継続して実施 (6館)	協働コミュニティ課	地域センターまつりの実行委員会である利用者協議会が存在しない施設が1件、新型コロナウイルス感染症対策による中止が1件となり、合計2件が未実施となった。
3	3-2	75	地域センター登録団体の管理	地域センター6館を利用する登録団体の情報を管理し、要望に応じて当該団体の了解のもと公開する。	—	—	未実施 (未実施)	継続して実施	協働コミュニティ課	団体の紹介を希望する事例がなかったため。

②大幅に取組が遅れている事業

基本目標	施策の方向性	通番	事業	事業概要	達成率	前年度比	令和元年度実績 (30年度実績)	令和元年度 (目標値)	所管課	取組が遅れている理由・考察
1	1-3	9	特定保健指導	特定健康診査の結果、内臓脂肪症候群の予防改善に努める必要のある者を対象に生活習慣改善の保健指導を行う。	22.7%	86.1%	特定保健指導実施率 13.6% (15.8%)	特定保健指導実施率 60%以上	健康推進課	本事業の目標値は国分寺市特定健康診査等実施計画の目標値(国が示す市町村国保における実施率)であり、実績と目標値の乖離が大きくなっている。ただし、平成30年度の法定報告数値、東京都全体の実施率15.3%、市町村の実施率17.0%と比較しても、実施率は下回っており、年々実施率も低下している。平成30年度に実施方法の見直し(評価時期の短期化、初回面接の分割実施、同一機関要件の廃止等)があったが、当市では従来の方法を継続しており、今後、弾力化された実施方法の取り入れ方についても検討する必要がある。平成30年度新規導入したICT面談について、令和元年度の利用者は2件だった。

③評価を行わなかった事業

基本目標	施策の方向性	通番	事業	事業概要	達成率	前年度比	令和元年度実績 (30年度実績)	令和元年度 (目標値)	所管課	考察
1	1-3	11	骨粗しょう症検診	骨粗しょう症の早期発見を目的とした検診。20歳以上の女性を対象。	—	—	平成30年度より骨粗しょう症検診実施中止。特定健康診査(66歳以上)及び後期高齢者医療健康診査受診票に啓発用チェックシートを同封 23,600件 (22,549件)	受診者386人以上 (平成26年度受診者数以上)	健康推進課	超音波法による骨量測定の精度について、国分寺市医師会より御意見をいただき、平成30年度より検診を中止している。啓発用チェックシートは、骨粗しょう症のリスクが高い方に整形外科の受診を勧奨する内容としており、今後も多くの市民への啓発を進めるため、令和2年度は、婦人科検診の個別勧奨通知への同封を行う。

国分寺市健康増進計画実施計画評価(令和元年度)達成状況一覧

<基本理念> 一人ひとりの健康づくりを皆で支え合い、取り組めるまち

【基本目標 1】 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する

通番	事業名	事業概要	担当課	実績値		目標値 令和元年度	進捗状況評価		前期計画の取組に対する評価	
				平成30年度	令和元年度		各課の評価	委員会評価	各課の評価	委員会評価
施策の方向性 1-1 子どもから高齢者まで、ライフステージに応じて、生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける										
★1	健康情報のポスター作成	市内薬局等に健康講座や、食育などの情報をポスターにて掲示し、市民に広く周知する。	健康推進課	市内薬局42か所・市施設7か所に前期、後期に1種類ずつ掲示。	市内薬局42か所・市施設7か所(公民館等)に前期、後期に1種類ずつ掲示。	市内全薬局に1年間、2種類のポスターを掲示している。	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。
★2	健康講座	生活習慣病予防や生活習慣改善に関する講座を実施する。託児付講座や土日開催など、対象者の参加しやすい工夫・テーマを取り入れて行う。		健康講座 年10回 食育講座 年3回	健康講座 年9回 食育講座 年3回	・健康講座 年8回以上 ・食育講座 年3回以上	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
3	個別相談	電話・面接・訪問等による個別相談(保健・栄養・歯科)を実施。		保健相談:249件(うち生活習慣病:0件) 栄養相談:43件 歯科相談:48件	保健相談:262件(うち生活習慣病0件) 栄養相談:38件 歯科相談:47件	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
施策の方向性 1-2 自らの健康に関心を持つ(自らの健康状態を把握する)										
★2(再)	健康講座	生活習慣病予防や生活習慣改善に関する講座を実施する。託児付講座や土日開催など、対象者の参加しやすい工夫・テーマを取り入れて行う。	健康推進課	健康講座 年8回 食育講座 年3回	健康講座 年9回 食育講座 年3回	・健康講座 年8回以上 ・食育講座 年3回以上	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
3(再)	個別相談	電話・面接・訪問等による個別相談(保健・栄養・歯科)を実施。		保健相談:249件(うち生活習慣病:0件) 栄養相談:43件 歯科相談:48件	保健相談:262件(うち生活習慣病0件) 栄養相談:38件 歯科相談:47件	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
4	子どもの歯を守る連絡会	市、関係機関等が連携し「子どもの歯と口の健康づくり」に関する効果的な事業の推進を図るための検討や協議を行う。		年2回開催。「子どもの歯科保健推進計画」に基づき関係部署が実施した取組の報告や情報交換。次年度の取組を効果的に実施するための提言。	年2回開催 「子どもの歯科保健推進計画」令和元年度～6年度策定	年2回開催	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。

通番	事業名	事業概要	担当課	実績値		目標値 令和元年度	進捗状況評価		前期計画の取組に対する評価	
				平成30年度	令和元年度		各課の評価	委員会評価	各課の評価	委員会評価
施策の方向性 1-3 自らの健康状態を把握するために行動を起こす										
5	健康診査(30歳代、生保等)	疾病の早期発見を目的とし、30歳から39歳までの市民を対象に健康診査を実施する。	健康推進課	受診率2.46% 対象者数16,334人 受診者数401人 (30歳代健診) 託児の試行実施 (5日間43名利用)	受診率3.50% 対象者数16,580人 受診者数579人 (30歳代健診) 託児実施 (9日間42名利用)	受診率2.73%以上 (平成26年度受診率以上)	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。
6	特定健康診査(国民健康保険、40歳以上)	40歳から74歳までの国民健康保険被保険者を対象として、医療保険者が毎年度特定健康診査等実施計画に定めた内容の健診を実施する。		受診率41.59% 対象者数17,891人 受診数7,441人 受診申込方法に電子申請を追加(10月)	受診率41.58% 対象者数17,280人 受診数7,185人	受診率60.0%以上 (国分寺市特定健康診査等実施計画平成29年度目標値)	やや取組が遅れている。	担当課の評価のとおりとする。	C	担当課の評価のとおりとする。
7	後期高齢者医療健康診査	後期高齢者医療制度加入者(主に75歳以上)を対象として、病気の早期発見・早期治療を目的として、特定健康診査と同等内容の健診を実施する。		受診率54.63% 対象者数13,496人 受診数7,373人	受診率54.15% 対象者数13,899人 受診数7,526人	受診率55.0%以上 (平成26年度健康診査推進計画、東京都後期高齢者医療広域連合平成27年度目標値)	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。
8	人間ドック健診(30歳以上)	生活習慣病の予防及び早期発見・早期治療を目的とし、30歳以上の市民を対象として健診を実施する。		人間ドック 受診者数793人 脳ドック(導入6月) 受診者数273人	人間ドック 受診者数823人 脳ドック 受診者数191人	受診者数606人以上 (平成26年度受診者数以上)	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
9	特定保健指導	特定健康診査の結果、内臓脂肪症候群の予防改善に努める必要のある者を対象として、生活習慣改善の保健指導を行う。健診結果により動機づけ支援と積極的支援に分かれる。		特定保健指導実施率 15.8% ICT面談導入(9月)	特定保健指導実施率 13.6% ICT面談率1.7%(2件)	特定保健指導実施率60.0%以上(国分寺市特定健康診査等実施計画における平成29年度目標値)	大幅に取組が遅れている。	担当課の評価のとおりとする。	C	担当課の評価のとおりとする。
★10	がん検診	各種がんの早期発見・早期治療を目的とした検診。 胃・肺・大腸がんは40歳以上対象。 乳がんは40歳以上(2年に1回)対象。子宮がんは20歳以上(2年に1回)対象。		受診者数 胃がん1,483人 肺がん2,713人 大腸がん14,254人 乳がん2,223人 子宮がん2,520人 電子申請の対象検診拡大 (10月)	受診者数 胃がん1,645人 肺がん2,894人 大腸がん14,027人 乳がん2,337人 子宮がん2,814人	平成26年度受診者数以上	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
11	骨粗しょう症検診	骨粗しょう症の早期発見を目的とした検診。20歳以上の女性を対象。		超音波法による骨量測定を中止。特定健康診査(66歳以上)及び後期高齢者医療健康診査受診票に啓発用チェックシートを同封(22,549件)。	平成30年度より骨粗しょう症検診実施中止。特定健康診査(66歳以上)及び後期高齢者医療健康診査受診票に啓発用チェックシートを同封(23,600件)。	受診者386人以上 (平成26年度受診者数以上)				D

通番	事業名	事業概要	担当課	実績値		目標値 令和元年度	進捗状況評価		前期計画の取組に対する評価	
				平成30年度	令和元年度		各課の評価	委員会評価	各課の評価	委員会評価
12	結核検診	結核の早期発見を目的とした検診。18歳以上を対象。	健康推進課	受診者77人 受診申込方法に電子申請を追加(10月)	受診者40人	受診者31人以上(平成26年度受診者数以上)	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
13	肝炎ウイルス検診	40歳以上で、過去に一度も肝炎ウイルス検診を受診したことのない市民を対象に実施する。		受診者855人 受診申込方法に電子申請を追加(10月)	受診者数731人	受診者917人以上(平成26年度受診者数以上)	やや取組が遅れている。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。
★14	歯科健診	・妊婦歯科健診:妊婦を対象に口腔内診査・歯みがき相談を実施。 ・乳幼児歯科健診:2歳半頃の幼児及び3歳半頃の幼児を対象に口腔内診査、仕上げみがきや幼児自身の歯みがき、フッ素塗布(希望者)を実施。 ・成人歯科健診:歯科医師会医療機関にて、20歳以上の市民対象に口腔内診査、相談を実施。 ・口腔がん検診:視診による舌やその他口腔内粘膜の炎症や傷の検査を実施。		受診者 ・妊婦167人 ・乳幼児(2歳半3歳半)270人、予防処置(フッ化物塗布)252人 ・成人900人 ・口腔がん59人	受診者 ・妊婦136人 ・乳幼児(2歳半3歳半)164人 ・成人1,088人 ・口腔がん86人	平成26年度受診者数以上	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。
★15	40歳検診勧奨事業	節目である40歳になる方を対象に、がん検診、歯科健康診査に関する個別通知により受診勧奨を実施。		発送数1,731件 電子申請の対象検診拡大(10月)	発送数1,675件	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。

【基本目標 2】 健康的な生活習慣を身につける

通番	事業名	事業概要	担当課	実績値		目標値 令和元年度	進捗状況評価		前期計画の取組に対する評価	
				平成30年度	令和元年度		各課の評価	委員会評価	各課の評価	委員会評価
<p>施策の方向性 2-1 すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援</p>										
<p>分野 2-1-1 食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」</p>										
★1(再)	健康情報のポスター作成	市内薬局等に健康講座や、食育などの情報をポスターにて掲示し、市民に広く周知する。	健康推進課	市内薬局42か所・市施設7か所に前期、後期に1種類ずつ掲示。	市内薬局42か所・市施設7か所(公民館等)に前期、後期に1種類ずつ掲示。	市内全薬局に1年間、2種類のポスターを掲示	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。
★2(再)	健康講座	生活習慣病予防や生活習慣改善に関する講座を実施する。 託児付講座や土日開催など、対象者の参加しやすい工夫・テーマを取り入れて行う。	健康推進課	健康講座 年10回 食育講座 年3回	健康講座 年9回 食育講座 年3回	・健康講座 年8回以上 ・食育講座 年3回以上	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
16	「天平メニュー・国分寺ごはん」の活用	H26に市制50周年記念事業として、市栄養士がメニューを開発した。引き続きメニューを周知し、講座等に活用する。	健康推進課	・食育講座 年3回 ・保育園 小学校 中学校で給食の提供 ・市報 HPIに掲載 ・レシピ チラシの配架 ・店舗3か所でメニュー提供	・食育講座 年3回 ・保育園 小学校 中学校で給食の提供 ・市報 HPIに掲載 ・レシピ チラシの配架 ・店舗3か所でメニュー提供	食育講座年3回以上	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
17-a	栄養講座・食育講座	食事を楽しみながら生活習慣病予防や生活習慣改善を目的に、各種教室を開催し市民の健康の保持・増進を図る。	健康推進課	栄養講座 年5回 食育講座 年3回	栄養講座 年5回 食育講座 年3回	・栄養講座 年3回以上 ・食育講座 年3回以上	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。

通番	事業名	事業概要	担当課	実績値		目標値 令和元年度	進捗状況評価		前期計画の取組に対する評価	
				平成30年度	令和元年度		各課の評価	委員会評価	各課の評価	委員会評価
17-b	栄養講座・食育講座	栄養や食事、食育に関する講座の実施。	公民館課	9事業 ・本多「くぬぎ教室サロン」 「異世代交流事業(親子でクッキング)」 ・恋ヶ窪「くぬぎステップアップ教室(調理実習)」 ・光「健康講座(菜膳とヨガ)」 「夏休み子どもクッキング(給食を作ってみよう)」 ・もとまち「夏休み子ども料理教室(とれたて野菜でクッキング)」 ・並木「くぬぎ教室サロン」 「地域交流事業まちなかの輪(世界のいろいろな国の食)」 「環境について考える講座(発酵食品)」	12事業 ・本多「くぬぎ教室サロン」 「子育て関連講座(時短料理と子育て)」 「異世代交流事業(親子でクッキング)」 ・恋ヶ窪「くぬぎステップアップ教室(調理実習)」 「公民館運営サポート会議との共催事業(恋ヶ窪はーとかふえおいしい煎茶)(恋ヶ窪はーとかふえ2 おいしい日本酒の探求)」 ・光「健康講座(菜膳とヨガ)」 「多文化共生講座(王さん一家の水餃子)」 「夏休み子どもクッキング(給食を作ってみよう)」 ・もとまち「夏休み子ども料理教室(ベトナム料理を作ってみよう)」 ・並木「くぬぎ教室サロン」 「地域交流事業まちなかの輪」	10事業継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。
17-c		①1～2歳児の栄養・食生活講習会 ②親子食事作り講習会 ③妊娠期からの食生活講習会	子育て相談室 (子ども家庭支援センター)	講習会を通じて食の大切さを知る。 各項目の実施日 ①平成30年7月25日 ②平成30年9月22日 ③平成31年2月27日	講習会を通じて食の大切さを知る。 各項目の実施日 ①未実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止) ②令和元年7月31日 ③令和元年8月28日	各年1回継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
18	個別栄養相談	健康の保持増進を図るため、個別栄養相談を実施する。	健康推進課	年12回実施	年11回実施	個別栄養相談 年10回以上	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
19	離乳食講習会	離乳食に対する知識の普及を図り、母子の健康保持・増進に努める。離乳食の作り方だけでなく、仲間づくりの場とする。	健康推進課	各年12回実施	各年11回実施	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
★20	両親学級・乳幼児健診など母子保健事業での情報提供	母子保健事業を活用し、子どもだけではなく保護者の健康づくりの必要性やの生活習慣病等について情報提供を実施。	健康推進課	・両親学級(栄養講話)年4回 ・乳幼児健診(集団)年72回	・両親学級(栄養講話)年4回 ・乳幼児健診(集団)年72回	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
21	若い世代への食の情報提供チラシ配布	市内大学・高校等と連携し、大学生に生活習慣病予防や食の情報提供チラシ配布。	健康推進課	・市内大学1校・高校3校・私立中学校1校・専門学校1校の一年生に配布 ・本庁舎で配架(保険年金課・生活福祉課)	・市内大学1校・高校3校・私立中学校1校・専門学校1校の一年生に配布 ・本庁舎で配架(保険年金課・生活福祉課)	市内の高校・専門学校・大学等配布場所の拡大	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。

通番	事業名	事業概要	担当課	実績値		目標値 令和元年度	進捗状況評価		前期計画の取組に対する評価	
				平成30年度	令和元年度		各課の評価	委員会評価	各課の評価	委員会評価
22	一般介護予防事業	「介護予防把握事業」「介護予防普及啓発事業」「地域介護予防活動支援事業」「一般介護予防事業評価事業」「地域リハビリテーション活動支援事業」から構成される。	高齢福祉課	市、委託地域包括支援センターにて開催 ・介護予防講演会年1回 ・転倒予防教室 年8回 ・介護予防教室 年8回 ・家族介護者交流会 年22回	市、委託地域包括支援センターにて開催 ・介護予防講演会年1回 ・転倒予防教室 年8回 ・介護予防教室 年7回 ・家族介護者交流会 年22回	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
23	高齢者配食サービス事業	ひとり暮らし・高齢者のみ世帯・日中独居の高齢者に平日昼食を定期的に届けることにより、高齢者の健康保持、安全等の確認を行う。	高齢福祉課	年間配食数6,631食	年間配食数4,685食	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。
24	摂食指導	専門指導として摂食指導を取り入れ、摂食指導の知識・大切さを保護者へアプローチすると共に、指導員等の研修も兼ねて行う。	子育て相談室 (子どもの発達センターつくしんぼ)	摂食指導は年4回(4月・7月・10月・1月)実施。食形態や介助方法等の指導を受け、療育の中に取り入れた。	摂食指導は年4回(4月・7月・10月・1月)実施。食形態や介助方法等の指導を受け、療育の中に取り入れた。	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
25	給食を通じた乳幼児期の食育指導	日々の給食提供から季節の食材や料理を伝える。伝統的な行事にまつわる食事の提供により伝統食を伝える。園内行事に合わせた食の提供等により、楽しい食体験を伝える。	子ども子育て事業課(保育園)	毎月1回実施	毎月1回実施	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
26	保育園内における野菜等の栽培	さまざまな野菜(食材)を栽培し、食べることで野菜(食材)に興味を持たせる。野菜(食べ物)の育ちを知らせる。	子ども子育て事業課(保育園)	年数回収穫実施	年数回収穫実施	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
27	芋ほり等の農業体験	地域での農業体験を通して、食材を作っている人について伝える。また自分の関わる地域の食材を伝える。	子ども子育て事業課(保育園)	年2回実施	年1回実施	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
28	給食地域交流会	地域の子育て世代に対して実際に給食を食べることを含めた情報提供を行う。	子ども子育て事業課(保育園)	月1～2回実施	月1～2回実施	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
29	①市民農園 ②市民農園大学	①市民が野菜栽培を通じて土に親しむと共に生産の喜びを味わい、市民相互の交流を深めてより豊かな余暇生活を実現する。 ②市民に「農業・農業者・農場への関心と理解を深めてもらう」ことを理念として、地元農業者の協力と指導により、受講生の手で農作物の播種・定植から除草などの農場管理、収穫に至る一連の作業に取り組む体験学習を行う。	経済課	①市内5か所で実施。30年度は内1園計126区画(西国分寺駅前)の使用者入れ替えを行った。 ②受講生22名中21名が修了	①市内5か所で実施。4園(西恋ヶ窪、戸倉、東元町、光町)計321区画の使用者入れ替えを行った ②受講生15名中15名が修了	①②共に農業理解の促進に繋がっているため、継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。

通番	事業名	事業概要	担当課	実績値		目標値 令和元年度	進捗状況評価		前期計画の取組に対する評価	
				平成30年度	令和元年度		各課の評価	委員会評価	各課の評価	委員会評価
30	援農ボランティア募集	農業者の高齢化や後継者不在など、担い手不足の問題を抱えた農家が増加していることを受け、援農ボランティアの「養成」と「紹介」を「国分寺市市民農業大学」の受講生を対象として実施。援農活動を希望する認定者を、受入農家に紹介する制度。	経済課	市民農業大学受講生22名中、21名が援農ボランティア養成講座を受講し、21名全員が援農ボランティア認定	市民農業大学受講生15名中、15名が援農ボランティア養成講座を受講し、15名全員が援農ボランティア認定	引き続き農業者の助けになっている援農ボランティアの育成・派遣を継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
31	直売所マップの配布	農業振興補助金を活用し、JA東京むさし国分寺支店が制作した直売所マップを市役所の窓口等で配布する。	経済課	窓口以外にも様々な農業イベントで配布	窓口以外にも様々な農業イベントで配布	直売所情報を精査し、最新情報を掲載した直売所マップを配布	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。
32	地場野菜の周知	市民農業大学、農業体験農園、こくぶんじ朝市、農業祭、農ウオーク等の農業関連事業を通じて参加者に対し、市内産の野菜をPRする。	経済課	市民農業大学、農業体験農園(全7か所)、ぶんじふれあい市(年2回)、農業祭、農ウオーク、ふれあい視察会(うど見学会)等を実施し、参加者に市内産の野菜をPR	市民農業大学、農業体験農園(全7か所)、ぶんじふれあい市(年1回)、農業祭、農ウオーク等を実施し、参加者に市内産の野菜をPR	地場産野菜の利用促進に繋がっているため、継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
33	農業体験	市民農業大学、市民農園、国分寺いきいき農園、農業体験農園等の事業実施による市民の農業体験の場の提供。	経済課	市民の農業体験の場として、市民農業大学、市民農園、国分寺いきいき農園(親子農業体験教室・野菜作りの半日体験講習会含む)、農業体験農園等の事業を実施	市民の農業体験の場として、市民農業大学、市民農園、国分寺いきいき農園(親子農業体験教室・野菜作りの半日体験講習会含む)、農業体験農園等の事業を実施	市民の農業・農業者・農地に関する相互理解の促進のため、継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
34	農業体験農園	農業経営の一環として農家自らが開設し、市民に連続した農業体験をしてもらう市民体験型の農園で、種も肥料も野菜づくりに必要なものをすべて農家が用意。年間約20品目程度の多品種栽培を体験しながら、収穫物を受け取れる。	経済課	市内7園にて開設(新規開設なし)	市内7園にて開設(新規開設なし)	農業経営の一環となるため、更に農業体験の拡充を図る	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。
35	農業祭	農畜産物の品質改善、栽培及び肥育管理の合理化を図り、都市農業の指針を確立し、農業経営の安定と生産意欲の向上に努め農業振興に寄与するとともに、自然環境保護と回復に深い関連のある農業を一般公開し、市民との連携を深める。	経済課	11月3日、4日の二日間に渡り農業祭本祭を実施。本祭に前後し、農業祭の一環としてハウストマト品評会、立毛品評会、うど品評会を実施	11月3日、4日の二日間に渡り農業祭本祭を実施。本祭に前後し、農業祭の一環としてハウストマト品評会、立毛品評会、うど品評会を実施	市民の農業・農業者・農地に関する相互理解の促進や地場産野菜の普及啓発のため、継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
36	JA協賛調理教室	JA東京むさし国分寺支店「セミナールーム」にてJAが企画した料理教室を市民向けに実施。食育や地産地消に直結する講座。	経済課	国分寺産うど料理、いちご大福作り、パンプキンプリン作り、まんじゅう作りなど市民向け料理教室を年7回実施	国分寺産うど料理、いちご大福作り、行事食(端午の節句、七夕、重陽の節句、正月、ひな祭り)など市民向け料理教室を年10回実施	継続して市報に掲載し、広く市民にPRする。	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。

通番	事業名	事業概要	担当課	実績値		目標値 令和元年度	進捗状況評価		前期計画の取組に対する評価	
				平成30年度	令和元年度		各課の評価	委員会評価	各課の評価	委員会評価
37	児童館の料理教室	子どもや乳幼児親子で参加できる料理の企画・実施。	子ども子育て事業課(児童館)	料理企画63回 (6児童館合計)	料理企画63回 (6児童館合計)	料理企画60回 (6児童館合計)	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
38	食育指導	各小学校における栄養職員による食育指導(授業・給食時間での食育指導)。	学務課	各校平均 年27.1回実施	各校平均 年23.5回実施	各校 年20回実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。

通番	事業名	事業概要	担当課	実績値		目標値 令和元年度	進捗状況評価		前期計画の取組に対する評価	
				平成30年度	令和元年度		各課の評価	委員会評価	各課の評価	委員会評価
分野 2-1-2 身体活動・運動										
★39-a	運動講座	①3B体操 ②ストレッチ&ダンス ③リミック ④自分でできるセルフケア ⑤パパと子どもの遊びの会	子育て相談室 (子ども家庭支援センター)	講習会を通じて、体を動かせる機会を提供しつなかりをつくる。 ①1月23日実施 ②未実施 ③8月22日実施 ④6月20日実施 ⑤3月16日実施	講習会を通じて、体を動かせる機会を提供しつなかりをつくる。 ①1月29日 ②4月24日 ③9月25日 ④6月20日 ⑤未実施	各年1回継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
★39-b		働き盛り世代でも参加しやすい日程に運動指導員を講師に運動講座を実施して、隙間時間に行える運動を紹介。 託児付講座や土日開催など、対象者の参加しやすい工夫・テーマを取り入れて行う。	健康推進課	年2回実施。 7/7参加者8人 保育3人 3/2参加者18人 保育5人	年2回実施。 8/31参加者 13人 保育 5人 2/7参加者 15人 保育 1人	他の講座と調整しながら年1回以上の実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
40	グループサークル団体登録	グループサークル団体の受付・登録を行う。	社会教育課	グループサークル団体登録数 66団体	グループサークル団体登録数 76団体 (うち、身体活動・運動団体 34団体)	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
41	プレイステーション整備・運営(野外活動)	青少年が生き生きと安全に遊べる遊び場として、指定管理者制度により国分寺市プレイステーションの管理・運営を行う。	社会教育課	10,726人	9,128人	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
42	スポーツ大会開催	各種スポーツ大会を開催する。	スポーツ振興課	7大会(市民体育大会、少年野球大会、少年少女サッカー大会、少年少女バレーボール大会、少年少女バドミントン大会、壮年ソフトボール大会、市民体操祭)	7大会(市民体育大会、少年野球大会、少年少女サッカー大会、少年少女バレーボール大会、少年少女バドミントン大会、壮年ソフトボール大会、市民体操祭)	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
43	スポーツ推進委員によるイベント	スポーツ推進委員により各種イベントを行う。	スポーツ振興課	ウォーキング1回、サイクルロゲイニング1回、マイロングライフフィットネス2回、スポレクまつり1回それぞれ実施	ウォーキング2回、ノルディックウォーキング2回、スポレクまつり1回それぞれ実施	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
22(再)	一般介護予防事業	「介護予防把握事業」「介護予防普及啓発事業」「地域介護予防活動支援事業」「一般介護予防事業評価事業」「地域リハビリテーション活動支援事業」から構成される。	高齢福祉課	市、委託地域包括支援センターにて開催 ・介護予防講演会年1回 ・転倒予防教室 年8回 ・介護予防教室 年8回 ・家族介護者交流会 年22回	市、委託地域包括支援センターにて開催 ・介護予防講演会年1回 ・転倒予防教室 年8回 ・介護予防教室 年7回 ・家族介護者交流会 年22回	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。

通番	事業名	事業概要	担当課	実績値		目標値 令和元年度	進捗状況評価		前期計画の取組に対する評価	
				平成30年度	令和元年度		各課の評価	委員会評価	各課の評価	委員会評価
44	地域生きがい交流事業	高齢者がそれぞれの立場から参加し、自ら多様な経験・技術を生かし、さまざまな生きがい活動を実践するため、「生きがい創作・介護予防事業」等を行う。	健康推進課(高齢福祉課)	年間延べ参加者数 7,876人	年間延べ参加者数 7,104人	年間延べ参加者数 10,000人	やや取組が遅れている。	担当課の評価 のとおりとする。	C	担当課の評価 のとおりとする。
45-a	体育館等個人開放・団体貸出し	いきいきセンター管理運営(指定管理)し、市民の健康増進活動の場を提供する。	健康推進課	いきいきセンター 団体登録数 32団体	いきいきセンター 団体登録数 32団体	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価 のとおりとする。	A	担当課の評価 のとおりとする。
45-b		市内体育施設を維持管理し、市民に活動の場を提供する。	スポーツ振興課	3施設 (市民スポーツセンター、市民ひかりスポーツセンター、市民室内プール)	3施設 (市民スポーツセンター、市民ひかりスポーツセンター、市民室内プール)	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価 のとおりとする。	A	担当課の評価 のとおりとする。
45-c		公民館施設の貸出し	公民館課	24,890件 (身体活動・運動での内訳利用数は不明)	22,310件 (身体活動・運動での内訳利用数は不明)	25,000件 (身体活動・運動での内訳利用数は不明)	やや取組が遅れている。	担当課の評価 のとおりとする。	B	担当課の評価 のとおりとする。
45-d		福祉センターの貸出し。	地域共生推進課	3,348件 (身体活動・運動での内訳利用数は不明)	3,031件 (身体活動・運動での内訳利用数は不明)	3,000件	目標どおり進行している。	担当課の評価 のとおりとする。	A	担当課の評価 のとおりとする。
45-e		地域センター6館及び多喜窪公会堂の集会室等の貸出し。	協働コミュニティ課	全7館で継続して実施	全7館で継続して実施	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価 のとおりとする。	A	担当課の評価 のとおりとする。

通番	事業名	事業概要	担当課	実績値		目標値 令和元年度	進捗状況評価		前期計画の取組に対する評価	
				平成30年度	令和元年度		各課の評価	委員会評価	各課の評価	委員会評価
分野 2-1-3 こころの健康・休養・睡眠										
46	①かるがも相談 ②フリートーキング	①子育てを通じての不安や悩みを、心理職が受ける。 ②日々の子育ての中で聞きたいことや話したいことなど、みんなでおしゃべりしながら交流する。	子育て相談室 (子ども家庭支援センター)	①適時実施。 ②育児相談や友達作りの機会を提供。0歳児対象、テーマ別、パパ対象を各6回実施。	①適時実施。 ②育児相談や友達作りの機会を提供。0歳児対象6回、テーマ別5回、パパ対象5回を実施。3月は新型コロナウイルス感染症対策で中止。	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
47	メンタルヘルス講座	メンタルヘルスに関する講座を実施。精神面の気づきのポイントを理解してもらい、心の健康づくりや病気の早期発見・治療に結びつくようにする。	健康推進課	「メンタルヘルス～最新情報を聴いて、なんでも訊いて解決!」講座 参加者11名 保育1名	「眠れない」は心のサイン?うつ病と睡眠のお話(申込者 17名) ※新型コロナウイルス感染症対策で実施中止。	2年に1回以上実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
★48	メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」	携帯電話やパソコンによりストレスや落ち込み度を簡単にチェックするもの。それを実施することで、どこに相談に行ったらよいか分かる仕組みになっている。	健康推進課	アクセス件数 年間41,092件	アクセス件数 年間29,890件	アクセス件数 平成25年度実績値以上	やや取組が遅れている。	担当課の評価のとおりとする。	C	担当課の評価のとおりとする。
49	心の健康相談(精神保健相談)	精神科医師による相談。心の問題についての相談や、セカンドオピニオンとしての利用や受診の必要性の確認などを行う。	障害福祉課	月1回実施。 相談者26人。 市立小中学校の養護教諭連絡会への周知も行った。	月1回の予定であったが、予約のない月があり、計11回実施。相談者25人。	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
50	妊産婦新生児訪問	妊産婦訪問時にEPDS(エジンバラ産後うつ病質問票)を含む自己記入式質問票を実施し、産後うつ病のスクリーニングや育児不安等、メンタルヘルスについて支援を行う。	健康推進課	産婦訪問実施率 95.5%	産婦訪問実施率 94.8%	産婦訪問実施率 平成25年度実績値以上	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
51	ゲートキーパー養成講座	年1回市職員を対象に自殺対策の専門家を講師に自殺対策講座を実施している。対象を市民や関係機関に拡大し、ゲートキーパーを増やす。	健康推進課	市職員対象に年1回実施 参加者数 20人 新規採用職員配置部署へ、電話にて参加勧奨	市職員対象に年1回実施 参加者23人	年1回以上実施 対象者を拡大	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。

通番	事業名	事業概要	担当課	実績値		目標値 令和元年度	進捗状況評価		前期計画の取組に対する評価	
				平成30年度	令和元年度		各課の評価	委員会評価	各課の評価	委員会評価
分野 2-1-4 飲酒										
52	まとう会(アルコール関連問題保健看護勉強会)	アルコール依存症の当事者やその家族が依存症の病態や、共依存のメカニズムについて学び、日々の生活について意見交換を行う。	健康推進課	年12回実施 参加者数延べ33人	年12回実施(うち1回は参加者0人) 参加者延べ35人	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。
53	アルコール個別相談	アルコール依存症の方やアルコールが止められない方の個別相談。	健康推進課	相談件数1件(健康推進課) 相談件数12件、関係機関連絡23件(障害福祉課)	相談件数0件(健康推進課) 相談件数10件(障害福祉課)	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
★54	両親学級(妊娠中の飲酒のリスクを情報提供)	妊娠中の飲酒による胎児の影響について、リーフレットを配布し、保健師より説明を行う。	健康推進課	年10回実施(土曜日・いずみプラザ) 年1回実施(平日・子ども家庭支援センター)	年10回実施(土曜日・いずみプラザ)	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
★55	アルコール依存症、治療に関する情報提供	市報・ホームページ等で、情報提供を行う。	健康推進課	5月1日号市報ヘルスアップ通信内に健康コラム「飲酒に関して考えてみましょう」記事掲載。飲酒のガイドラインに加え、眠りとの関係も記載した。	5月1日号市報ヘルスアップ通信内に健康コラム「飲酒に関して考えてみましょう」記事掲載。女性の飲酒・未成年の飲酒についても記載した。	平成27年度以降実施し、年1回以上ホームページに継続掲載	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
分野 2-1-5 喫煙										
★56	喫煙のリスクや禁煙外来についての情報提供	世界禁煙デーにあわせて、市報・ホームページ等にて情報提供を行う。	健康推進課	庁舎内へ受動喫煙に関連するポスターを掲示。市報にたばこの影響についての知識普及と啓発記事(都受動喫煙防止条例に関する記事含む)を掲載。	庁舎内へ受動喫煙に関連するポスターを掲示。市報にたばこの影響についての知識普及と啓発記事(都受動喫煙防止条例に関する記事含む)を掲載。	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
★57	両親学級(妊娠中の喫煙のリスクを情報提供)	妊娠中の喫煙や、副流煙による胎児への影響について妊婦やその家族に情報提供を行う。	健康推進課	年10回実施(平成30年度に東京都受動喫煙防止条例ができたことを伝えている。)	年10回実施	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。

通番	事業名	事業概要	担当課	実績値		目標値 令和元年度	進捗状況評価		前期計画の取組に対する評価	
				平成30年度	令和元年度		各課の評価	委員会評価	各課の評価	委員会評価
分野 2-1-6 歯と口の健康										
★14(再)	歯科健診	・妊婦歯科健診:妊婦を対象に口腔内診査・歯みがき相談を実施。 ・乳幼児歯科健診:2歳半頃の幼児及び3歳半頃の幼児を対象に口腔内診査,仕上げみがきや幼児自身の歯みがき,フッ素塗布(希望者)を実施。 ・成人歯科健診:歯科医師会医療機関にて,20歳以上の市民対象に口腔内診査,相談を実施。 ・口腔がん検診:視診による舌やその他口腔内粘膜の炎症や傷の検査を実施。	健康推進課	受診者 ・妊婦167人 ・乳幼児(2歳半3歳半)270人,予防処置(フッ化物塗布)252人 ・成人900人 ・口腔がん59人	受診者 ・妊婦136人 ・乳幼児(2歳半3歳半)164人,予防処置(フッ化物塗布)155人 ・成人1,088人 ・口腔がん86人	平成26年度受診者数以上	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。
58	口腔機能向上健診(咬合力測定)	40歳以上の市民を対象に健診,咬合力測定,歯科医師の個別相談と併せて歯科衛生士による健康教育等を実施。	健康推進課	延べ人数252人(健診・舌圧測定・口腔機能測定・個別相談)	延べ人数272人(健診・舌圧測定・口腔機能測定・個別相談)	平成26年度受診者数以上	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
★59	①乳幼児・2歳児歯みがきクラス ②成人講座	①歯みがきクラス:乳幼児歯みがきクラスは1歳頃～1歳5か月児とその保護者,2歳児歯みがきクラスは2歳頃～2歳5か月児とその保護者を対象に,口腔機能や虫歯予防に関する健康教育と相談を実施。 ②成人:歯科医師等による歯科保健健康教育,歯科衛生士による実習相談等を実施。	健康推進課	・乳幼児歯みがきクラス138組 ・2歳児歯みがきクラス95組 ・成人歯科保健講座年1回実施	・乳幼児歯みがきクラス134組 ・2歳児歯みがきクラス94組 ・成人歯科講座年1回実施	・乳幼児歯みがきクラス173組以上 ・2歳児歯みがきクラス103組以上 ・成人講座継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。
60	歯科医療連携推進事業	歯科衛生士が障害者等歯科相談窓口でかかりつけ歯科医を探すことが困難な障害者・在宅要介護者等からの相談を受け,歯科医師会と連携して身近な地域で適切な歯科医療を受けられるよう歯科医療機関の紹介を行う。	健康推進課	・相談及び連絡・調整(障害者等歯科相談窓口含む)133件 ・歯科衛生士訪問2件 ・歯科医師訪問4件	相談及び連絡・調整(障害者等歯科相談窓口含む)138件 ・歯科衛生士訪問6件 ・歯科医師訪問5件	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
61	個別歯科相談	歯科衛生士が電話・面接・訪問により歯と口に関する相談を実施。	健康推進課	延べ件数31件(電話・面接・訪問)	延べ件数52件(電話・面接・訪問)	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
62	歯と口の健康週間事業	歯と口の健康週間(6/4～6/10)のうちの日曜日に歯と口の健康に関するイベントを実施。	健康推進課	イベント参加延べ人数479人	イベント参加延べ人数674人	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。

通番	事業名	事業概要	担当課	実績値		目標値 令和元年度	進捗状況評価		前期計画の取組に対する評価	
				平成30年度	令和元年度		各課の評価	委員会評価	各課の評価	委員会評価
4(再)	子どもの歯を守る連絡会	市、関係機関等が連携し「子どもの歯と口の健康づくり」に関する効果的な事業の推進を図るための検討や協議を行う。	健康推進課	年2回開催。「子どもの歯科保健推進計画」に基づき関係部署が実施した取組の報告や情報交換。次年度の取組を効果的に実施するための提言。連絡会の取組として啓発用パンフレット作成。次期計画について協議・検討。	年2回開催「子どもの歯科保健推進計画」令和元年度～6年度策定	年2回開催の継続	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
★15(再)	40歳検診勧奨事業	節目である40歳になる方を対象に、がん検診、歯科健康診査に関する個別通知により受診勧奨を実施。	健康推進課	発送数1,731件 電子申請の対象検診拡大(10月)	発送数1,675件	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
22(再)	一般介護予防事業	「介護予防把握事業」「介護予防普及啓発事業」「地域介護予防活動支援事業」「一般介護予防事業評価事業」「地域リハビリテーション活動支援事業」から構成される。	高齢福祉課	市、委託地域包括支援センターにて開催 ・介護予防講演会年1回 ・転倒予防教室 年8回 ・介護予防教室 年8回 ・家族介護者交流会 年22回	市、委託地域包括支援センターにて開催 ・介護予防講演会年1回 ・転倒予防教室 年8回 ・介護予防教室 年7回 ・家族介護者交流会 年22回	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
63-a	歯科健診	嘱託歯科医師による歯科健診。健診当日欠席した未受診児には嘱託歯科医院を受診してもらい、1か月間は無料で健診を受けてもらう。	子ども子育て事業課(保育園)	年一回実施	年一回実施	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
63-b		小中学校歯科健診の実施。	学務課	年1回実施	年1回実施	年1回実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
63-c		嘱託医による歯科健診を実施。	子育て相談室(子どもの発達センターつくしんぼ)	歯科健診を年2回(6月・10月)実施し、保護者に健診結果を伝え必要に応じて歯科医の受診等を促した。また、1月に保護者向けに歯科衛生士による歯科講座と個別指導を実施した。	歯科健診を年2回(6月・10月)実施し、保護者に健診結果を伝え必要に応じて歯科医の受診等を促した。また、1月に保護者向けに歯科衛生士による歯科講座と個別指導を実施した。	年1回継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
64	ほけんだよりの活用	公立保育園等で作成する「ほけんだより」にめちゃんぬりえを載せキャラクターの周知と同時に噛むことの重要性を周知。	子ども子育て事業課(保育園)	むし歯予防デーと合わせて6月号に掲載	ほけんだより6月号に掲載	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。

通番	事業名	事業概要	担当課	実績値		目標値 令和元年度	進捗状況評価		前期計画の取組に対する評価	
				平成30年度	令和元年度		各課の評価	委員会評価	各課の評価	委員会評価
65-a	歯みがき指導	看護職が年長児に歯みがき指導を実施。幼児には虫歯予防などの保健指導を実施。	子ども子育て事業課(保育園)	年1～3回程度実施	11月の歯磨き週間に実施。	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
65-b		小学校4年生を対象とした歯磨き指導の実施。	学務課	年1回	年1回	年1回	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
65-c		専門指導として摂食指導を取り入れ、摂食指導の知識・大切さを保護者へアプローチすると共に、指導員等の研修も行う。昼食後に歯磨きを取り入れ、歯磨きの習慣をつけるプログラムを取り入れている。	子育て相談室(子どもの発達センターつくしんぼ)	摂食指導は年4回(4月・7月・10月・1月)実施。食事の形態や介助方法等の指導を受け、療育の中に取り入れた。毎日の歯磨きを、確実に行った。	摂食指導は年4回(4月・7月・10月・1月)実施。食事の形態や介助方法等の指導を受け、療育の中に取り入れた。毎日の歯磨きを、確実に行った。	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。

【基本目標 3】 地域の中で健康づくりを活性化する

通番	事業名	事業概要	担当課	実績値		目標値 令和元年度	進捗状況評価		前期計画の取組に対する評価	
				平成30年度	令和元年度		各課の評価	委員会評価	各課の評価	委員会評価
施策の方向性 3-1 地域のつながり強化										
66	すくすくこくぶんじ	地域の親子に保育園に来てもらい、予防的観点から健康に関する保健講話を実施。健康相談も実施。	子ども子育て事業課(保育園)	年1回実施	年3回(6, 11, 2月)実施	年1回程度	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
67	①職場体験 ②センターまつり ③クリスマス会 ④小学生社会科見学 ⑤はあとマーケット	①国分寺市立中学校職場体験受け入れ(各学校2名程度) ②親子参加型のフリーマーケットや、地域活動の一環としてのイベント。ボランティアおよび多世代の交流 ③地域のボランティアによるイベントおよび多世代との交流(午前・午後2回実施) ④第二小学校三年生全クラス参加 ⑤リサイクル絵本のお店屋さんごっこ	子育て相談室(子ども家庭支援センター)	地域の各機関との連携を図り、イベントを通して繋がりを強化。 ①11月6～8日、1月23日～1月25日 ②10月13日③12月24日 ④5月29日 ⑤未実施	地域の各機関との連携を図り、イベントを通して繋がりを強化。 ①11月6～8日、1月21～23日 ②10月19日 ③12月20日 ④5月17日 ⑤未実施	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
68	ファミリー・サポート・センター事業の広報活動	市内の親子ひろばで、事業広報と会員拡大のための登録手続きも合わせて実施する。	子育て相談室	年26回実施(3, 4箇月児健康診査24回, 親子ひろば2回)	年25回実施(3, 4箇月児健康診査22回, 親子ひろば3回)	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
69-a	出前講座	地域の団体からの健康講座の依頼に対して、保健師・栄養士・歯科衛生士が向ういて講座を実施する。	健康推進課	年5回実施	年4回実施	年5回以上実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
69-b		健康推進課の親支援グループ時に保育、手遊び、ふれあい遊びを通して母の不安軽減と母子の愛着促進を促す。	子ども子育て事業課(保育園)	月一回実施	月一回実施	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
69-c		市政についての学習会を開催する場合、市から関係職員を講師として派遣。	高齢福祉課	地域包括支援センターと連携して、出張講座を34回実施。	地域包括支援センターと連携して、出張講座を21回実施。	地域包括支援センターと連携して継続	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
70	地域・団体交流会	市民活動センターに登録している135団体に加えて、市民や自治会町内会、商店会などにも声をかけて、地域の課題を出し合いながら、相互交流を図る。	協働コミュニティ課	事業概要に即した事業としては開催していない。従来の市民活動センター団体交流会としての『こらぼdeサロン』を2回開催したほか、新たに団体向け講座を2回実施した。	事業概要に即した事業としては開催していない。従来の市民活動センター団体交流会としての『こらぼdeサロン』を2回開催したほか、団体向け講座を1回実施した。	継続して実施	やや取組が遅れている。	担当課の評価のとおりとする。	C	担当課の評価のとおりとする。
71	自治会・町内会連絡会	現在協働コミュニティ課で把握している市内130弱の自治会・町内会の会長を対象として、連絡調整及び情報提供を行っている。	協働コミュニティ課	市内2か所で年3回、計5回開催(第3回は講演会形式で1回のみ)	市内2か所で年3回、計5回開催(第3回は講演会形式で1回のみ)	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。

通番	事業名	事業概要	担当課	実績値		目標値 令和元年度	進捗状況評価		前期計画の取組に対する評価	
				平成30年度	令和元年度		各課の評価	委員会評価	各課の評価	委員会評価
72	地域センターまつり(5館)	子どもから高齢者までを対象に地域センターまつりを実施し、ダンスや健康体操などの利用団体が日頃の活動の成果を発表するとともに、あまり地域センターを利用しない世代も含め、多世代交流の場とする。	協働コミュニティ課	各館年1回継続実施 (5館)	各館年1回継続実施 (4館)	継続して実施 (6館)	やや取組が遅れている。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。
73	内藤地域センターだよりの発行	内藤地域センター利用者協議会に協力して、広報紙を発行し、利用団体の日常の活動等を広く地域に紹介する。また、他の地域センターでも広報紙の発行を検討する。	協働コミュニティ課	年1回発行 (内藤) 年4回発行 (西町)	年1回発行 (内藤) 年3回発行 (西町)	継続して実施 (6館)	やや取組が遅れている。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。
施策の方向性 3-2 地域での健康づくり活動の支援										
74	自主グループとの連携、社協との連携	介護予防・日常生活支援総合事業の中での取組、連携。	高齢福祉課	介護予防に資する住民運営活動団体を集めた意見交換会を行った。	介護予防に資する住民運営活動団体を集めた意見交換会を行った。 活動マップ等、意見を取り入れ、使いやすく改良した。	平成29年度までに検討、開始し、継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
75	地域センター登録団体の管理	地域センター6館を利用する登録団体の情報を管理し、要望に応じて当該団体の了解のもと公開する。	協働コミュニティ課	未実施	未実施	平成27年度以降開始し、継続して実施	やや取組が遅れている。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。
76	利用者協議会や交流会	地域センター6館においては、様々な利用団体の交流等の場として利用者協議会や交流会を実施する。	協働コミュニティ課	利用者協議会等を実施した。(5館)	利用者協議会等を実施した。(5館)	継続して実施	やや取組が遅れている。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。
★77	市民活動フェスティバル	市民活動センターに登録している団体が実行委員会形式でフェスティバルを開催する。年々参加団体や来場者が増えており、地域住民に浸透しつつある。また、子育て世代が参加し易い内容を企画運営している。	協働コミュニティ課	年1回開催	年1回開催	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
78	スポーツ登録団体の管理	スポーツ登録団体の登録・受付を指定管理者が行う。	スポーツ振興課	スポーツ登録団体数442団体(うち10団体は平成26年度に小平市と締結した体育施設相互利用協定に基づく登録団体) (平成30年度末現在)	スポーツ登録団体数461団体(うち9団体は平成26年度に小平市と締結した体育施設相互利用協定に基づく登録団体) (令和元年度末現在)	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。

通番	事業名	事業概要	担当課	実績値		目標値 令和元年度	進捗状況評価		前期計画の取組に対する評価	
				平成30年度	令和元年度		各課の評価	委員会評価	各課の評価	委員会評価
45(再)-a	体育館等個人開放・団体貸出し	いきいきセンター管理運営(指定管理)し、市民の健康増進活動の場を提供する。	健康推進課	いきいきセンター団体登録数 32団体	いきいきセンター団体登録数 32団体	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
45(再)-b		市内体育施設を維持管理し、市民に活動の場を提供する。	スポーツ振興課	3施設 (市民スポーツ・市民ひかりスポーツセンター、市民室内プール)	3施設 (市民スポーツ・市民ひかりスポーツセンター、市民室内プール)	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
45(再)-c		公民館施設の貸出し	公民館課	24,890件 (身体活動・運動での内訳利用数は不明)	22,310件 (身体活動・運動での内訳利用数は不明)	25,000件 (身体活動・運動での内訳利用数は不明)	やや取組が遅れている。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。
45(再)-d		福祉センターの貸出し。	地域共生推進課	3,348件 (身体活動・運動での内訳利用数は不明)	3,031件 (身体活動・運動での内訳利用数は不明)	3,000件	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
45(再)-e		地域センター6館及び多喜窪公会堂の集会室等の貸出し。	協働コミュニティ課	全7館で継続して実施	全7館で継続して実施	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。

【基本目標 4】 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる

通番	事業名	事業概要	担当課	実績値		目標値 令和元年度	進捗状況評価		前期計画の取組に対する評価	
				平成30年度	令和元年度		各課の評価	委員会評価	各課の評価	委員会評価
施策の方向性 4-1 4-2 対象者・年齢層に応じた情報の発信機会状況やニーズに応じた適切な情報内容										
79	情報発信	市報、ホームページ、ツイッターなどの情報媒体を使い、対象者に合わせて健康づくりに関する情報を発信していく。若い世代・働き盛り世代に対してインターネットの活用を充実させる。	各課(健康推進課)	市報、ホームページ、ツイッターで情報発信を実施	市報掲載件数 112件 ツイッター発信件数 19件	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
79		市報、ホームページ、ツイッターなどの情報媒体を使い、対象者に合わせて健康づくりに関する情報を発信していく。若い世代・働き盛り世代に対してインターネットの活用を充実させる。	各課(子ども子育て事業課)	市報、ホームページ、おたよりで情報発信を実施	市報、ホームページ、おたよりで情報発信を実施	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
79		市報、ホームページ、ツイッターなどの情報媒体を使い、対象者に合わせて健康づくりに関する情報を発信していく。若い世代・働き盛り世代に対してインターネットの活用を充実させる。	各課(高齢福祉課)	・市報・ホームページで情報を発信 ・情報提供を希望した地域の団体に対しては、必要時文書の発送を行い、情報提供を実施した。	・市報・ホームページで情報を発信 ・情報提供を希望した地域の団体に対しては、必要時文書の発送を行い、情報提供を実施した。	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
79		市民が必要とする正確な情報を把握・収集し、必要とする市民や地域の団体等に届け、必要な市民や団体が適時受け取ることができる環境を整えていきます。	各課(子育て相談室)	毎月市報、ホームページ、ツイッターで情報発信を実施。また、市内の公共機関・保育所・幼稚園・医師会等でポスター掲示やチラシを配架や配布。	毎月市報、ホームページ、ツイッターで情報発信を実施。また、市内の公共機関・保育所・幼稚園・医師会等でポスター掲示やチラシを配架や配布。親子ひろば休止期間中はツイッターを頻繁に更新した。	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
79		市民が必要とする正確な情報を把握・収集し、必要とする市民や地域の団体等に届け、必要な市民や団体が適時受け取ることができる環境を整えていきます。	各課(社会教育課)	ツイッター 発信回数56回	ツイッター発信回数 112回	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。
80	情報集約	市民が必要とする正確な情報を把握・収集し、必要とする市民や地域の団体等に届け、必要な市民や団体が適時受け取ることができる環境を整えていきます。	健康推進課	地区医師会など外部団体の講演会について、募集記事の市報掲載を行った。	地区医師会など外部団体の講演会について、募集記事の市報掲載を行った。	健康づくりに関する活動・団体の情報を集約し、発信	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	B	担当課の評価のとおりとする。
80		市民が必要とする正確な情報を把握・収集し、必要とする市民や地域の団体等に届け、必要な市民や団体が適時受け取ることができる環境を整えていきます。	協働コミュニティ課	・こらぼdeサロン(団体交流会)開催 ・こくぶんじ市民活動センター登録団体情報誌発行 ・ホームページで情報発信	・こらぼdeサロン(団体交流会)開催 ・こくぶんじ市民活動センター登録団体情報誌発行 ・ホームページで情報発信	継続して実施	目標どおり進行している。	担当課の評価のとおりとする。	A	担当課の評価のとおりとする。